

# 統一的基準による平成 28 年度山形広域環境事務組合の 財務書類 4 表（一般会計） 概要説明資料

## 貸借対照表

当組合が保有している土地や建物などの財産（資産）と、その財産を築くための財源（税込・補助金や借入金など）を、年度末時点で左右に並べて比較した表です。

これにより、現在までに整備された資産の財源構成のうち、将来の世代が負担するもの（負債）とこれまでの世代が負担したもの（純資産）を把握することができます。

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"><b>資産</b></td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 50%; text-align: right;"><b>95.6 億円</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td>これまでに取得した資産 (土地、建物、基金や現金等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>【内訳】</b></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>有形固定資産等</td> <td style="text-align: right;">94.0 億円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>投資その他の資産</td> <td style="text-align: right;">—</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>流動資産</td> <td style="text-align: right;">1.6 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち現金預金</td> <td style="text-align: right;">1.6 億円</td> </tr> </table>	<b>資産</b>		<b>95.6 億円</b>		これまでに取得した資産 (土地、建物、基金や現金等)		<b>【内訳】</b>			1	有形固定資産等	94.0 億円	2	投資その他の資産	—	3	流動資産	1.6 億円		うち現金預金	1.6 億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"><b>負債</b></td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 50%; text-align: right;"><b>56.1 億円</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td>将来の世代が負担するもの (地方債、退職手当引当金等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>純資産</b></td> <td></td> <td style="text-align: right;"><b>39.5 億円</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td>これまでの世代が負担するもの (固定資産等形成分、余剰・不足分)</td> <td></td> </tr> </table>	<b>負債</b>		<b>56.1 億円</b>		将来の世代が負担するもの (地方債、退職手当引当金等)		<b>純資産</b>		<b>39.5 億円</b>		これまでの世代が負担するもの (固定資産等形成分、余剰・不足分)	
<b>資産</b>		<b>95.6 億円</b>																																
	これまでに取得した資産 (土地、建物、基金や現金等)																																	
<b>【内訳】</b>																																		
1	有形固定資産等	94.0 億円																																
2	投資その他の資産	—																																
3	流動資産	1.6 億円																																
	うち現金預金	1.6 億円																																
<b>負債</b>		<b>56.1 億円</b>																																
	将来の世代が負担するもの (地方債、退職手当引当金等)																																	
<b>純資産</b>		<b>39.5 億円</b>																																
	これまでの世代が負担するもの (固定資産等形成分、余剰・不足分)																																	

## 行政コスト計算書

人的サービスや給付サービスなどの資産形成につながらない行政サービスに要した費用（コスト）と、それに対する受益者負担分（収益）を表しています。

<b>経常費用 (A)</b>		<b>21.3 億円</b>
<b>【内訳】</b>		
	業務費用（人件費、物件費など）	20.5 億円
	移転費用（補助金など）	0.8 億円
<b>経常収益 (B)</b>		<b>3.8 億円</b>
	行政サービスの受益者負担分である使用料や手数料など	
<b>純経常行政コスト (C) = (A) - (B)</b>		<b>17.5 億円</b>
	経常費用から経常収益を差し引いた、経常的な行政活動により生じたコスト ※ 人口 1 人当たり 5,600 円	
<b>臨時損失 (D)</b>		—
	資産除売却損	
<b>臨時利益 (E)</b>		—
	資産除売却益	
<b>純行政コスト (F) = (C) + (D) - (E)</b>		<b>17.5 億円</b>
	純経常行政コストに、臨時損失・臨時利益を加減した全行政活動によって生じたコスト	

## 純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産」について、1 年間でどのような増減があったかを示しています。

<b>前年度末純資産残高 (A)</b>		<b>13.8 億円</b>
<b>本年度純資産変動額 (B)</b>		<b>25.7 億円</b>
<b>【内訳】</b>		
	純行政コスト	▲17.5 億円
	財源（税込等、国県等補助金）	43.2 億円
<b>本年度末純資産変動額 (C) = (A) + (B)</b>		<b>39.5 億円</b>

## 資金収支計算書

1 年間の資金の増減を「業務活動」、「投資活動」、「財務活動」の活動別に示しています。

<b>前年度末資金残高</b>		<b>0.8 億円</b>
<b>本年度資金収支額</b>		<b>0.6 億円</b>
<b>【内訳】</b>		
	業務活動収支（税込など）	1.0 億円
	投資活動収支（設備投資など）	▲46.1 億円
	財務活動収支（借入など）	45.7 億円
<b>本年度末資金残高</b>		<b>1.4 億円</b>
前年度末歳計外現金残高		170 万円
本年度歳計外現金増減額		1,700 万円
本年度末歳計外現金残高		1,900 万円
<b>本年度末現金預金残高</b>		<b>1.6 億円</b>